

秋田県議会議員【横手市選出】

お ぼら 小原まさてる

がんばる!
秋田の
営業マン

37歳、現秋田県議会議員最年少。
保育園、小学校、中学校に通う3人の子育て真っ最中。
4世代9人家族で暮らし、介護の現場も毎日経験。
若い力で秋田の未来を創ります!

PROFILE

横手市生まれ。
秋田ふるさと村、道の駅十文字の社員を経て、
34歳で秋田県議会議員初当選。



▲子ども達と



▲全国を回り、秋田・横手を売り歩いています▲

ごあいさつ



▲一般質問で登壇

4月から消費税が引き上げられたにもかかわらず、年金・医療・介護・子育てなどの社会保障の充実を実感することは出来ません。株価は上がりましたが、年金は下がりました。公共事業は増えましたが、教育、子育て支援、雇用創出などの「人への投資」は減りました。農家の戸別所得補償は今年から半分になり、今秋には50億円が秋田県内の農業者に配分されないことになります。

2020年の東京オリンピックまでには東京の人口は16万人ほど増えますが、秋田の人口は8万人以上減り、96万人になると予想されています。税制優遇などの規制緩和も大都市中心に考えられており、このままではますます大都市と地方との格差が進んでいくことでしょう。

今の国の政策は「大都市・大企業が潤えば、自然と地方都市・中小企業へ浸透する」という考えで進んでいますが、私はこの考えで秋田が横手が良くなるとは思いません。それよりも今こそ、人や地域を活かすことに力を入れ、その地域力を持つ集合体としての市、県、国づくりといった、ボトムアップ型で日本の成長ビジョンを再考すべき時です。

社会保障や教育、子育て支援、雇用創出などを充実させ「人への投資」をすること、この秋田に今ある自然や人といった資源を活かすことが、20年後の秋田に一番必要な政策と信じて行動しています。

「平和を守り、対案をしっかり提示できる、地域主観の議員」、また「秋田の営業マン」として、これからも地域のために頑張ってまいります。皆様のご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

地元参加活動

横手市消防団員、PTA活動、横手ライオンズクラブ、横手送り盆まつり、ぼんでん、野菜ソムリエコミュニティあきた等の地域活動にも力を入れています。



◀消防団活動

県議会での活動

3年間で、一般質問3回、総括質疑6回、賛成討論1回行い、現場の声を届けています。

- 1年目 農林水産委員、総合防災対策調査特別委員
- 2年目 農林水産委員、総合防災対策調査特別委員
決算特別委員、あきた未来づくり交付金事業分科会委員
- 3年目 農林水産委員、決算特別委員
あきた未来づくり交付金事業分科会委員

◀総括質疑にて

県政への反映

農産物加工の強化!

横手にも食品加工工場がどんどん出来ています。また、県内農業法人で加工に対する取り組みが進んできており、着々と効果が出てきています。

学校給食の地元産品使用率を上げる取り組みを!

取り上げる前は地元産品使用率が**28%**だったものが、**43%**まで上がりました。

他にも

シニア世代の農業支援と起業支援、廃校の活用、認知症への取り組み強化や屋台の営業緩和など様々な分野で取り組みが進んでいます。



◀りんご農家調査

今議会での提言(一部)

農業政策について

- ◎戸別所得補償制度は、県内農家のアンケートをもとに国に存続を求めていくべき。
- ◎平鹿地域は過去に「ハウスの無償貸出し」などを積極的に支援した結果、複合化が進んでいる。個々の農家の所得を上げるため、県としてもこのような支援が出来ないか。
- ◎平場は利用集積が進んでいるが、条件不利な中山間地域への対応を強化すべき。
- ◎国や県では法人化などの大規模化による雇用の確保や産地化を形成しようとしているが、地域を維持していくためには所得1,000万円農家を増やすことが、より重要であると考え。その取り組みを強化するための支援をするべき。
- ◎豊富な自然エネルギーを活用し、太陽光、小水力、風力、バイオマスなどで個人が売電できる取り組みを進め、所得の向上につなげるべき。また、そのための「送電網の整備」を。

豪雪対策について

- ◎低所得者の雪下ろしに対する支援を。
- ◎屋根の設備工事、ヘルメットの補助を。
- ◎共助組織の継続的な支援を。
- ◎「命を守ること」、「降雪対策住宅の推進」などを入れた雪下ろし条例の制定をするべき。
- ◎県内市町村間での広域的な連携をするべきで、消防団等との連携や関わりが必要。
- ◎農業被害の中でもリンゴの産地の維持するため、さらに手厚い支援を。
- ◎年々被害が多くなっているブドウ、サクランボ、モモ、さらにビニールハウスに対する支援を。また、県として雪に強い栽培技術や棚ハウスの開発などを強化すべき。



◀県民との意見交換会

◀ボランティア活動

医療について

- ◎へき地医療の解決は県単独では難しく、国に診療報酬の増額なども求めるべき。
- ◎ドクターヘリの隣県との連携を進めるべき。
- ◎悪天候の際対応できないドクターヘリよりドクターカーの導入検討が必要。ドクターカーの調査・実験にあたって、5月に新設の大曲厚生医療センター(仙北組合総合病院)に導入しては。

観光について

- ◎和食・発酵といえば秋田といわれるような取り組みを進めるべき。
- ◎秋田ふるさと村の横手市との連携を強化。
- ◎秋田ふるさと村へ高速SA機能を持たせては。
- ◎日沿道開通後、県内のSA整備を進めてはどうか。
- ◎県庁朝市を開催してみても。
- ◎観光案内板の県内統一デザイン導入を。

◀稲作水害調査